

丸ノ内線の建設

荻窪線工事

新宿～荻窪、中野坂上～方南町間

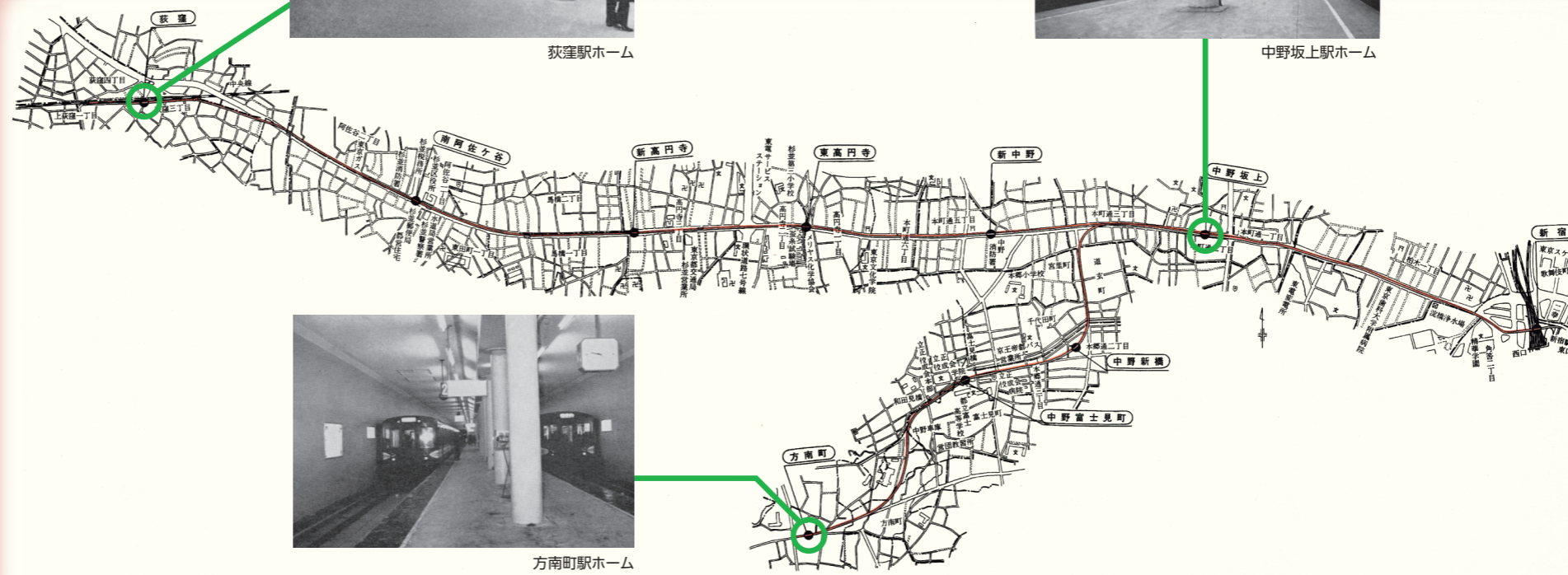
駅・施設



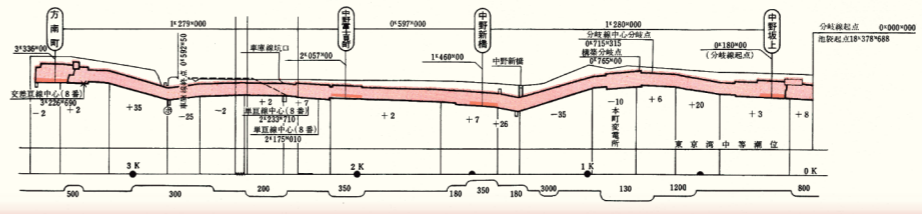
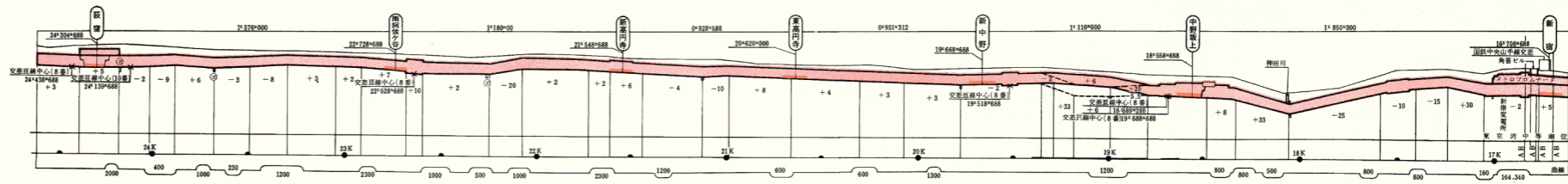
荻窪駅ホーム



中野坂上駅ホーム



方南町駅ホーム



新宿～荻窪、中野坂上～方南町間は、開通当初は丸ノ内線とは別の「荻窪線」という名称でした。丸ノ内線と一体の運用であったこともあり、1972 (昭和47) 年4月に荻窪線の名称は廃止され、丸ノ内線に統一されました。

方南町付近では、イコス工法 (長方形のコンクリート壁を土中に形成する工法) が採用されました。これは、今後の新線建設のために試験的に導入したものでした。



青梅街道 南阿佐ヶ谷駅付近の工事 地上(左)と地下(右)